

# としよかんづうしん

通巻36号(平成18年12月)

編集・発行 印西市立大森図書館

パソコンから <http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>  
i-modeから <http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>



## 目次

- \* 今年も大盛況ブックリサイクル
- \* 中学生が職業体験に来ました!
- \* これからの行事
- \* あとがき

大森図書館	42-8686	印西市大森2535
小林図書館	97-0005	印西市小林北5-1-6
そうふけ図書館	45-2566	印西市原3-4
小倉台図書館	47-5511	印西市小倉台4-5

## 今年も大盛況ブックリサイクル！！

～平成18年10月22日(日)～

昨年同様、OPEN前からお待ちの方もたくさんいて大盛況でした。お目当ての1冊を探す方とりあえず手に取ってみる方など様々でした。

皆様はお気に入りのものを手にできましたでしょうか？



## 市内の中学生が職業体験に来ました！！

今年も印西市内4館の図書館に中学生が職業体験にやって来ました。「**図書館の仕事は簡単**」と思っていた子どもたちも、カウンターでの貸出や返却だけでなく、本の修理やビニールコートかけ、本の移動(箱に入るとかなり重い!)、新しく入ってきた本を棚に出すまでの様々な作業があることに「**意外と大変!**」との感想。イメージとは違っていたようです。でも、最終日には楽しそうな、ちょっぴり満足げな笑顔で帰って行きました。この体験が、今後の進路や日常の学習、生活に少しでも役立てば幸いです。

## 『子どもの読書時間を増やそう!!』

今、子どもを取り巻く環境が変わってきています。特に「活字ばなれ」と言われる現代、本を読む機会が減ってきているようです。

～読み聞かせなんて面倒くさい・最後まで話を聞かない・どんな本を読み聞かせたらいいのか分からない。テレビやゲームをやらせておけばいいだろう。～

そういった考えを持っている方がいるかもしれません。でも、まだ言葉の分からない赤ちゃんでも、周りの大人たちが「**本を読む**」=「**音(声)を楽しんで聞く**」ことでスキンシップができます。**大人の話す言葉は子どもにとって「宝物」なのです。**最後まで話を聞かなくても子どもは絵や挿絵を見て何か感じているものがあるかもしれません。図書館では、おはなし会をはじめ、様々な行事を行い、子どもに対する読書推進を進めています。

「**読書・読み聞かせ**」を通じ親子のふれあいのひとときをぜひ「**本を読む・読んであげる**」ことをお勧めします。





## これからの行事



### ～クリスマス会～ 小林図書館

楽しいお話の世界へご案内します。

- 日時 12月3日(日)午前11時～(開場10時50分)  
会場 小林コミュニティプラザ遊戯室  
内容 読み聞かせ・紙芝居など  
対象 3歳から小学校3年生くらいまで  
定員 50人  
入場料 無料  
申込み 当日、会場で(定員になり次第締め切り)  
問合せ 小林図書館 ( 97 - 0005 )



### ～冬のおはなし会～ 大森図書館

楽しいお話をたくさん用意してお待ちしています。

- 日時 12月9日(土)午前10時30分～(開場10時10分)  
会場 文化ホール2階多目的室  
内容 パネルシアターなど  
対象 幼児から  
定員 100人  
入場料 無料  
申込み 当日、会場で(定員になり次第締め切り)  
問合せ 大森図書館 ( 42 - 8686 )



### ～クリスマス会～ 小倉台図書館

クリスマスの季節に、楽しいお話を用意してお待ちしています。

- 日時 12月16日(土)午前10時30分(開場10時)  
会場 小倉台図書館  
内容 絵本の読み聞かせなど  
対象 3歳から小学校3年生くらいまで  
定員 50人  
入場料 無料  
申込み 当日、会場で(定員になり次第締め切り)  
問合せ 小倉台図書館 ( 47 - 5511 )





# 図書館からのお願い



図書館では本・コミックの寄贈を受け付けています。  
**不要になった人気の本**をお持ちでしたら寄贈をお願いします。  
 なお、寄贈していただいた本・コミック等の資料の取り扱いについては、一任させていただいており、**必ずしも図書館所蔵の資料になるとは限りません**のでご了承ください。また、書き込みやカビなどによる汚破損本などはご遠慮ください。



## 冬に暖まる おすすめ絵本

『ゆき』  
 ユリ・シュルヴィッツ / 作  
 さくま ゆみこ / 訳  
 あすなる書房

ゆきがふりだしました。「ひとひら、ひとひら…」あとからあとからふりつづきます。そして、まちじゅうがまっしるに…。



ゆきのなかにだれかのあしあとがありました。ねずみは、あしあとをたどっていきます。

『だれのあしあと』  
 ふくだ としお / 作  
 新風社

『おおさむこさむ』  
 こいで やすこ / 作  
 福音館書店

「きつねのきっこ」シリーズ3作目。きっこは、ちいといとそりをひいてゆきやまにのぼっていきました。するとゆきだるまがふたつでできました。



あとがき  
 今年ももうすぐ終わりですね…。皆さんにとって今年1年はどんな年でしたか？  
 来年は今年よりも、もっともっと素敵な1年になるようサンタさんをお願いしつつ、  
 今年の「としょかんつうしん」は終わりにさせていただきます。良いお年を。A・S